

# 第26回 れんげテニス大会

- 【主催】

日本女子テニス連盟 岐阜県支部
- 【共催】

各務原市テニス協会
- 【後援】

岐阜県テニス協会 岐阜新聞社、岐阜放送
- 【大会委員長】

藤原 ちえみ
- 【ディレクター】

牧村 洋子 090-5634-8558(問い合わせ先)
- 【レフェリー】

梅田 宗子
- 【大会委員】

白岩 美幸
- 【会場】

岐阜車体スポーツ広場
- 【日程】

2025年10月27日(月) 予備日 11月4日(火)
- ☆受付

午前8時30分～8時55分
- ☆開会式

午前9時より 終了後試合開始
- 【種目】

女子ダブルス A級・B級 (50歳以上)
- 【試合方法】

すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用  
本戦 6ゲーム先取、コンソレーション 6ゲーム先取(敗者ボール使用)  
ウォームアップはサービス4本とする  
セルフジャッジ フェイスマスク着用不可
- 【使用球】

DUNLOP FORT (敗者持ち帰り)
- 【服装】

テニスウェアを着用  
長ズボン可、ロゴ規定なし
- 【その他】

本大会はすべてのプレイヤーを公平に扱います  
試合中に発生した傷害についてはその場で対応はしますが、それ以後の責任は負いません  
天候等やむを得ない事情により変更されることがあります  
◎天候不良により中止や緊急の連絡はJLTF岐阜県支部ホームページに掲載します  
この大会で得た個人情報は大会以外の目的には使用しません。

## 歴代優勝者

|      |               |               |
|------|---------------|---------------|
| 第1回  | 木原マチ子 ・ 武市彰子  |               |
| 第2回  | 葛西文代 ・ 加藤君子   |               |
| 第3回  | 葛西文代 ・ 山田美江子  |               |
|      | A 級           | B 級           |
| 第4回  | 鈴江明美 ・ 中川輝美   | 牧村洋子 ・ 山本歌子   |
| 第5回  | 鈴江明美 ・ 舘文子    | 小椋千代子 ・ 吉田喜巳子 |
| 第6回  | 福田由美子 ・ 山根福子  | 高木清子 ・ 永田照子   |
| 第7回  | 住アツ子 ・ 山本歌子   | 横山久恵 ・ 毛利京子   |
| 第8回  | 藤原ちえみ ・ 石井三代子 | 久納智子 ・ 高桑陽子   |
| 第9回  | 中村芳子 ・ 今村芳子   | 小林かよ ・ 山田典美   |
| 第10回 | 渡辺珠美 ・ 今村芳子   | 小池礼子 ・ 三枝英子   |
| 第11回 | 渡辺珠美 ・ 今村芳子   | 安田尚子 ・ 黒田佳子   |
| 第12回 | 渡辺珠美 ・ 今村芳子   | 柴垣尚子 ・ 小島聡美   |
| 第13回 | 渡辺珠美 ・ 今村芳子   | 渡辺真澄 ・ 高橋美由紀  |
| 第14回 | 三鴨緑 ・ 藤井敦子    | 田口美智子 ・ 林智美   |
| 第15回 | 梶田恵 ・ 白岩美幸    | 佐藤敦子 ・ 名和恭子   |
| 第16回 | 久納智子 ・ 高桑陽子   | 加藤千恵子 ・ 小島一見  |
| 第17回 | 梶田恵 ・ 亀村千穂    | 和田美和子 ・ 兼松こずえ |
| 第18回 | 浅野美恵 ・ 鈴木聡美   | 中嶋美佐子 ・ 井平早百合 |
| 第19回 | 藤井敦子 ・ 三鴨緑    | 小路さおり ・ 加藤桂子  |
| 第20回 | 今井智美 ・ 竹内文恵   | 山口育子 ・ 曾我真由美  |
| 第21回 | 今井智美 ・ 竹内文恵   | 中島ひとみ ・ 加藤知子  |
| 第22回 | 倉知尚代 ・ 永田寿子   | 脇田寿美子 ・ 堀由美   |
| 第23回 | 倉知尚代 ・ 永田寿子   | 岩田礼子 ・ 青木千鶴   |
| 第24回 | 倉知尚代 ・ 永田寿子   | 加藤綾 ・ 長江光子    |
| 第25回 | 加藤万由弓 ・ 鈴木聡美  | 堅田恭子 ・ 熊田亜希子  |

## ☆☆注意事項☆☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はロービングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 25 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第 1 ゲーム終了後とタイブレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

## ☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。  
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」  
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォールト」
3. 相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルで速やかに行う。  
代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォールト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. ダブルスの判定とコールは、一人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。  
ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、一人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「（サービスの）レット」となる。
5. ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤーが「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入った場合、1 回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。  
ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エースまたは返球が正しく相手コートに入らなかった場合は相手への妨害が起こってないので、1 回目であってもミスジャッジをしたペアの失点となる。
6. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両プレーヤー・チームが判定とコールをすることができる。
7. サービスのレットはレシーバー側がコールする。
8. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてそのポイントをやり直す。  
ただし、レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打った側の失点。明らかなウイニングショット・エースとなった場合は、そのボールを打った側の得点。  
ポイントが終了した後で、妨害があったとしてやり直しの要求はできない。  
第 2 サービスのモーションに入った後に妨害があった場合は第 1 サービスからやり直す。
9. 第 2 サービスからのインプレー中、第 1 サービスのフォールトのボールを誤って蹴飛ばした場合は、相手のプレーヤーが妨害と判断した場合「レット」をコールできる。2 回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
10. 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
  - ・試合中、トイレ・着替えなどでコートを離れた時
  - ・相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールトなどに疑問、不服がある時
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに要求後、次のエンド交代時（緊急を要する場合は直ちに）、1 部位の症状につき 1 回の M T O が取れ、3 分間の手当てをすることができる。  
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、M T O をとることはできない。

## ☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

レフェリー（コート付近の通路にいます）を呼んでください。

# 第26回「れんげテニス大会」A級

2025. 10. 27

SF



第1シード 加藤万由弓・鈴木聡美

第5シード 梶田恵・松下祐紀

第2シード 永田寿子・倉知尚代

第6シード 久納智子・高桑陽子

第3シード 渡辺美由紀・服部佳代子

第7シード 山田典美・熊田庸子

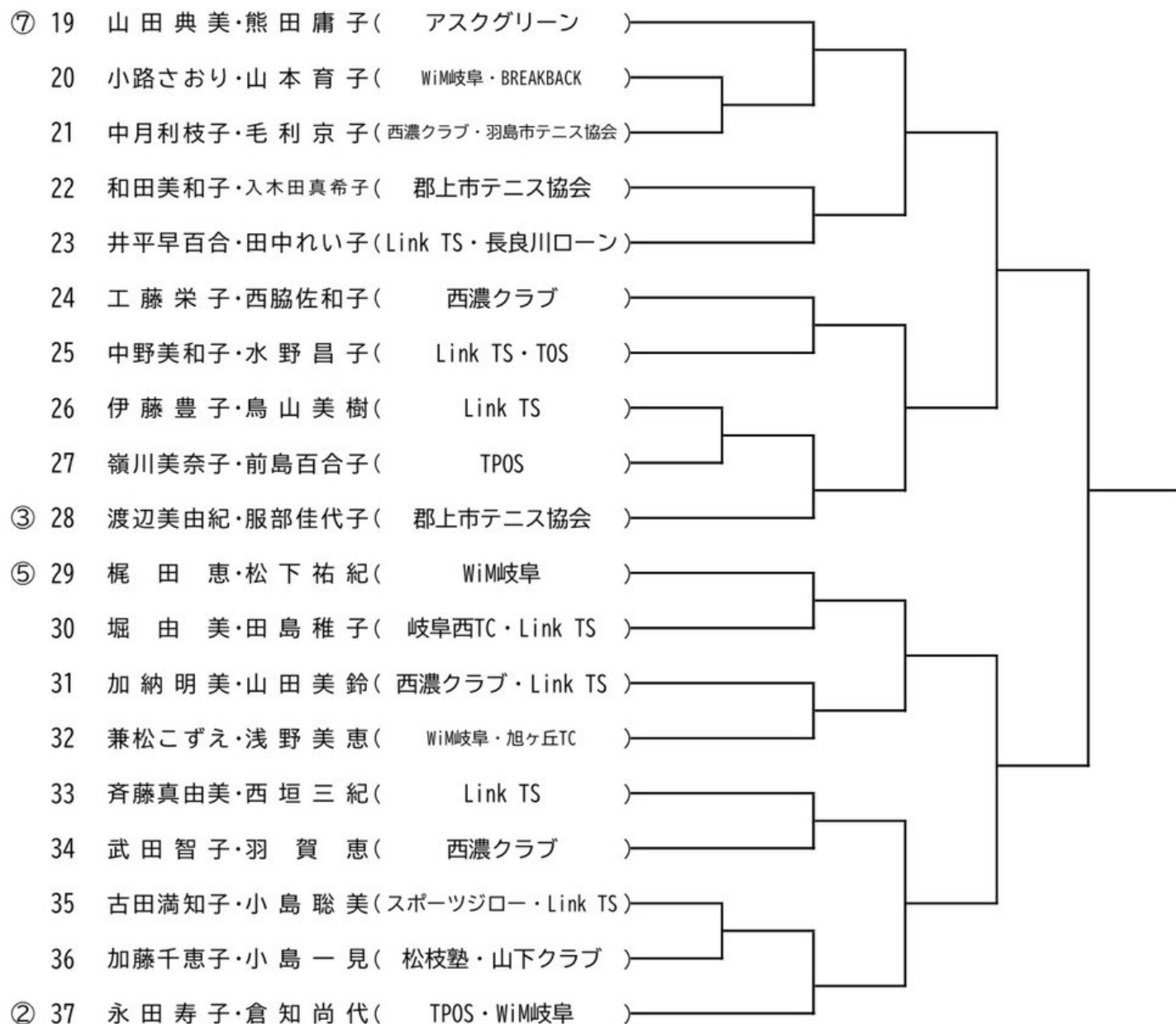
第4シード 佐々木夫美枝・原美幸



# 第26回「れんげテニス大会」A級

2025. 10. 27

SF



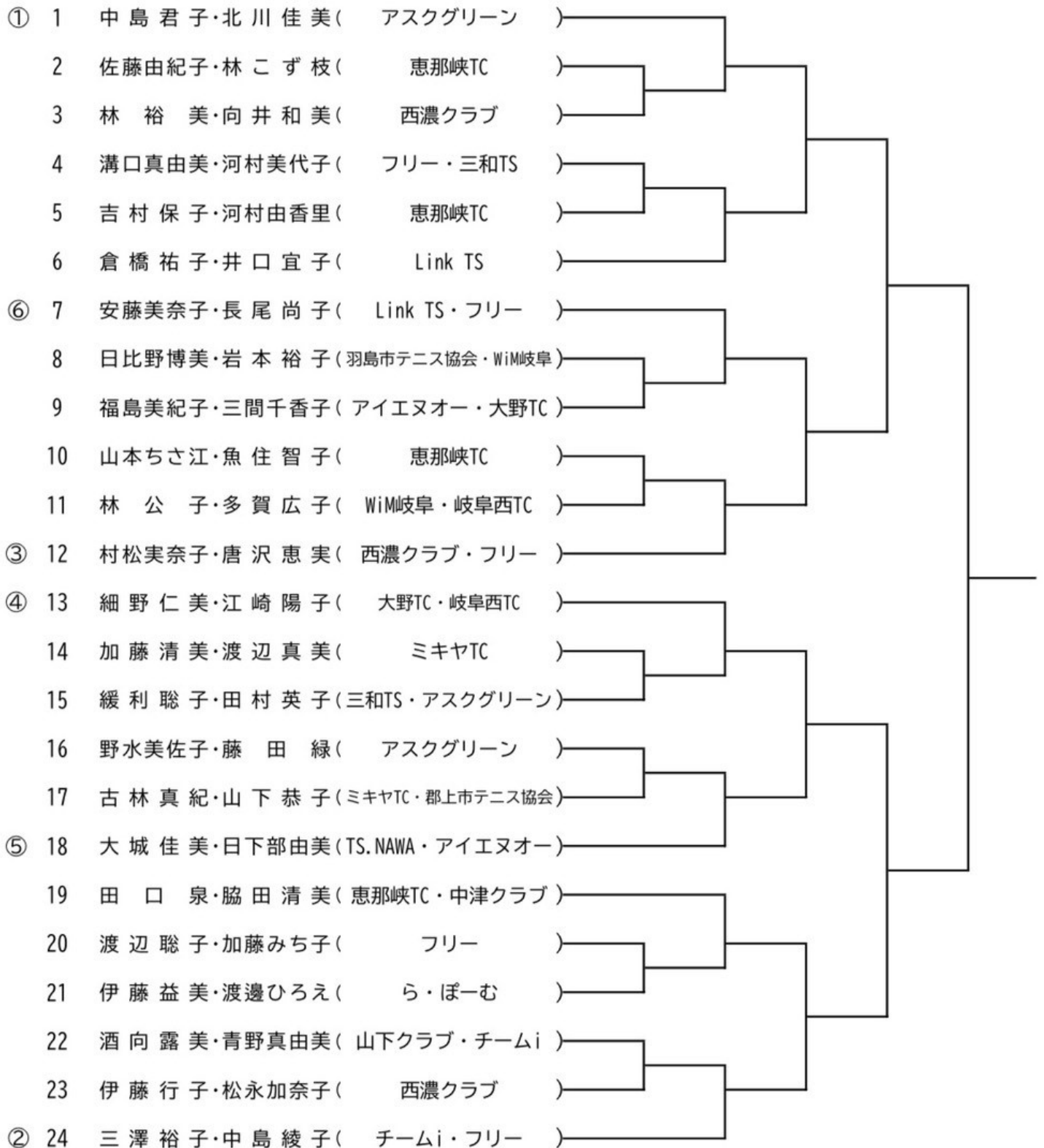
決 勝



# 第26回「れんげテニス大会」 B級

2025・10・27

SF F



第1シード 中島君子・北川佳美

第2シード 三澤裕子・中島綾子

第3シード 村松実奈子・唐沢恵実

第4シード 細野仁美・江崎陽子

第5シード 大城佳美・日下部由美

第6シード 安藤美奈子・長尾尚子

[illegible]